

ラッチリーマーの交換時期について

ラッチリーマーは低速回転で使用しますので刃の切れ味が悪くなっていることを判断するのが困難です。目安としてハンドピースへの着脱に抵抗を感じたら交換時期です。ラッチリーマーの使用可能回数は、サイズやドリリングをした患者様の骨質によって異なります。サイズが4.5mm以上のラッチリーマーは他のサイズよりも特にドリリング時の負荷が大きく、患者様の骨質によってはご使用回数が数回で交換時期を迎えてしまうこともあります。

着脱に少しでも抵抗を感じた場合は、お早めに新しいラッチリーマーと交換して下さい。抵抗があるにも関わらず、ラッチリーマーを無理にハンドピースに装着して使用すると、ラッチリーマーがハンドピースから抜けなくなったり、ハンドピースとのラッチリーマーの接続部が破折してハンドピースの修理が必要となることもありますので御注意下さい。いつ交換時期を迎えてもすぐに交換できるように、予備のラッチリーマーを常時用意されることをお勧めいたします。

ご不明な点がございましたら、お気軽に弊社までお問い合わせください。